

## 教員の研究活動 2006（平成 18）年 1～12 月

### 大学校長

---

#### [ 著書 ]

田村やよひ (2006). 外国人看護師受け入れ. 日本病院管理学会 学術情報委員会編, 医療・病院管理用語事典 (改訂第 3 版). 58, エルゼビア・ジャパン, 東京.

#### [ 講演・学会発表 ]

田村やよひ (2006). 魅力ある国立病院機構の学校作り—今後の看護基礎教育が進むべき方向. 第 60 回国立病院総合医学会講演抄録集, 187. 国立京都国際会館, 9 月 22 日.

田村やよひ (2006). 保健師助産師看護師法等の改正と看護管理. 第 10 回日本看護管理学会年次大会講演抄録集, 40.

田村やよひ (2006). 医療制度・介護保険制度等の改革と看護職の役割. 第 8 回看護国際フォーラム, 大分県別府ビーコンプラザ, 10 月 14 日.

#### [ その他 ]

田村やよひ, 大室律子 (2006). 医療制度改革に向けた看護の動向—2005 年「医療安全の確保に向けた保助看法等のあり方に関する検討会」から考える. 看護教育, 47 (2), 156-161.

田村やよひ (2006). 看護職員の需給に関する最近の動向. 看護教育, 47 (4), 330-334.

田村やよひ, 大室律子 (2006). 看護・医療・福祉に関する最近の動向—2006 年診療報酬改定・医療制度改革・看護基礎教育の充実に関する検討会など. 看護教育, 47 (8), 736-741.

### 人間科学 (情報学)

---

#### [ 著書 ]

柏木公一 (2006). 看護用語の標準化. 太田勝正, 前田樹海編著, エssenシャル看護情報学. 165-181, 190-191, 医歯薬出版, 東京.

柏木公一 (2006). 看護情報の管理. 永井良三監修, 数間恵子, 菅田勝也, 小出大介編, 看護と情報科学. 38-59, 杏林図書, 東京.

#### [ 研究報告 ]

柏木公一 (2006). NANDA-NIC-NOC の実用可能性—ICNP プロジェクトの立場から. 看護診断, 11 (1), 109-112.

柏木公一 (2006). 「看護」を表現する看護実践国際分類 (ICNP). 看護学雑誌, 70 (6), 529-533.

#### [ 講演・学会発表 ]

柏木公一 (2006). 医学用語集 SNOMED-CT・UMLS とオントロジー. オントロジー学際会議 (Interdisciplinary Meeting on Ontology 2006, focusing on Bio-Medical and AI-Informatic Ontologies).

柏木公一 (2006). SNOMED-CT にみる看護用語. 第 26 回医療情報学連合大会 (第 7 回日本医療情報学会学術大会).

#### [ 研究助成 ]

柏木公一 (2006). 電子カルテから有害事象を検出するためのオントロジー構築とその評価. 平成 18 年度文部科学研究費若手研究 (B) (課題番号: 18791651).

### 人間科学 (語学)

---

#### [ 著書 ]

Matsuoka, R. (2006). *Japanese college students' willingness to communicate in English*. Doctoral dissertation, Pennsylvania State Temple University.

#### [ 論文 ]

Matsuoka, R. (2006). Willingness to communicate among Japanese college students. *Proceedings of the 10<sup>th</sup> Conference of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics*, 151-159.

Matsuoka, R. & Evans, D. (2006). An analysis of motivational structure in learning English. *The Journal of Nursing Studies NCNJ*, 5(1), 27-36.

Herbert, J. & Evans, D. (2006). Using oral tests as a measure of English conversational ability: A retrospective analysis. *The Hiroshima Prefectural University Review*, 9(2), 17-30.

#### [ 講演・学会発表 ]

- Matsuoka, R. (2006). *Computer assessment system of English communication*. Presented at the 11<sup>th</sup> International Conference of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics, Chuncheon, South Korea, July.
- Matsuoka, R. (2006). *Communication Apprehension and Willingness to Communicate*. Presented at the 4<sup>th</sup> Asia TEFL International Conference, Fukuoka, Japan, August.

### 人間科学(保健行政学)

---

#### [ 著書 ]

- 森山幹夫 (2006). 保健・医療・福祉の展望. 医療介護コーディネータ協議会編, 医療・介護経営用語事典. 4-11, 法研, 東京.

#### [ 論文 ]

- 森山幹夫 (2006). 途上国への適切な社会保障システム導入と各国間連携の推進方策に関する研究. 厚生労働科学研究社会保障国際協力推進研究報告書, 1-489.
- 森山幹夫 (2006). 看護職が医療安全に果たす役割に関する法的側面を含めた考察. 国立看護大学校研究紀要, 5 (1), 44-49.
- 森山幹夫 (2006). 子育て環境の充足度は低下しているという国民の不満. 保育界, 384, 11-12.
- 森山幹夫 (2006). 助産と看護の飛躍のために「出産育児一時金制度の改革」. ペリネイタルケア, 25 (12), 58-59.

#### [ 講演・学会発表 ]

- 森山幹夫 (2006). 利用者主役の染色体遺伝子検査に向けて. 日本染色体遺伝子検査学会総会, 天理, 11月.
- 森山幹夫 (2006). 日本の社会保障概略. 国連 ESCAP 主催高齢化問題に関する円卓会議, 東京, 3月.
- 森山幹夫 (2006). 厚生労働省社会保障国際協力推進事業「途上国への適切な社会保障システム導入と各国間連携の推進方策に関する研究」発表. 国際厚生事業団, 東京, 3月.

### 基礎看護学(基礎看護学)

---

#### [ 論文 ]

- Ozawa, M., Mizuno, M., Nakashima, K., Hirose, C., Masaki, H., Sato, E., Takaya, T., & Takeo, K. (2006). A trial calculation of how many newly graduated nurses can be trained at National Hospital Organization facilities that satisfy provisional standards on desirable educational systems. *The Journal of Nursing Studies NCNJ*, 5(1), 3-12.

#### [ 研究報告 ]

- 竹尾恵子, 小澤三枝子, 佐藤エキ子, 高屋尚子, 廣瀬千也子, 正木治恵, 水野正之 (2006). 新人看護職員研修の推進に関する研究 平成17年度総括・分担研究報告書. 厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業, 1-95.

#### [ 講演・学会発表 ]

- 竹尾恵子 (主任研究者), 小澤三枝子 (発表者), 佐藤エキ子, 高屋尚子, 廣瀬千也子, 正木治恵, 水野正之 (2006). 新人看護職員研修の推進に関する研究 平成17年度総括報告. 平成17年度厚生労働省医療技術評価総合研究事業研究報告会, 42-47.

### 基礎看護学(基礎看護援助学)

---

#### [ 講演・学会発表 ]

- 穴沢小百合, 松山友子, 吉満祥子 (2006). 基礎看護技術演習における学生の心理的苦痛に対する看護教員の対応. 日本看護研究学会雑誌, 29 (3), 226.
- 一色美穂, 松山友子 (2006). 看護師が臨床で行っている清拭ケアに関するアセスメントー清拭に焦点を当てて. 第4回国立病院看護研究学会学術集録集, 129.
- 三好みずる, 穴沢小百合 (2006). 看護学生の看護技術習得状況に焦点を当てた文献の研究内容に関する特徴ー2000～2004年に発表された文献の分析. 第4回国立病院看護研究学会学術集録集, 107.

#### [ その他 ]

- 松山友子 (2006). 活動・休息援助技術. 看護実践の科学, 31 (7), 86-89.
- 松山友子 (2006). 清潔・衣生活援助技術. 看護実践の科学, 31 (7), 90-93.
- 穴沢小百合 (2006). 環境調整技術. 看護実践の科学, 31 (7), 77-79.
- 穴沢小百合 (2006). 排泄援助技術. 看護実践の科学, 31 (7), 83-86.
- 吉満祥子 (2006). 食事援助技術. 看護実践の科学, 31 (7), 79-82.

## 基礎看護学（看護教育学）

---

### [ 著書 ]

亀岡智美 (2006). 看護師目標達成行動尺度. 舟島なをみ監修, 看護実践・教育のための測定用具ファイル開発過程から活用  
の実際まで. 63-74, 医学書院, 東京.

亀岡智美 (2006). Nursing Stress Scale 日本語版. 舟島なをみ監修, 看護実践・教育のための測定用具ファイル開発過程から  
活用の実際まで. 176-187, 医学書院, 東京.

### [ 論文 ]

亀岡智美, 舟島なをみ, 山下暢子 (2006). 看護学教員の教育ニーズの現状とそれに関する特性の解明. 日本看護研究学会雑  
誌, 29(5), 1-12.

舟島なをみ, 村上みち子, 亀岡智美, 三浦弘恵, 山下暢子 (2006). 教育ニーズアセスメントツール-看護学教員用- (FENAT)  
の開発. 看護教育, 47(4), 350-356.

### [ 講演・学会発表 ]

亀岡智美 (2006). 学生からの他者評価を活用した授業の改善-研究成果として産出された測定用具の活用を通して. 看護教育  
学研究, 15(2), 24-25.

亀岡智美, 舟島なをみ (2006). 病院に就業する看護職者が職業上直面する問題の経験累積による変化-経験3年以下と4年以  
上6年以下の比較を通して. 第37回日本看護学会抄録集(看護教育), 189.

亀岡智美, 舟島なをみ, 野本百合子, 村上みち子 (2006). 看護系大学・短期大学におけるファカルティ・ディベロップメント  
の現状-11校の調査を通して. 第26回日本看護科学学会学術集会講演集, 411.

Kameoka, T., & Funashima, N. (2006). *Educational needs of nursing faculty in diploma programs in Japan*. The 19<sup>th</sup> Annual Pacific  
Nursing Research Conference, Honolulu, Hawaii, U. S. A., February.

Kameoka, T., Funashima, N., Sugimori, M., & Yamashita, N. (2006). *Factors related to research activities of nursing faculty in Japan: A  
secondary analysis*. 17<sup>th</sup> International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, Sigma Theta Tau International,  
Montreal, Quebec, Canada, July.

Nakayama, T., Kameoka, T., Funashima, N., & Sugimori, M. (2006). *Relationships between personal attributes and quality of clinical  
teaching behaviors of nursing faculty in diploma program in Japan*. 17<sup>th</sup> International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-  
Based Practice, Sigma Theta Tau International, Montreal, Quebec, Canada, July.

Gorzka, P., Funashima, N., Kameoka, T., Hongo, K., Miura, H., & Yamashita, N. (2006). *Pilot study to test the face validity of the English  
version of the Japanese self evaluation scale on role model behaviors for nursing faculty and faculty attributes questionnaire*. 17<sup>th</sup>  
International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, Sigma Theta Tau International, Montreal, Quebec,  
Canada, July.

## 基礎看護学（看護管理学）

---

### [ 著書 ]

高橋泰子 (2006). 感染看護のエビデンス. 深井喜代子監修, ケア技術のエビデンス. 197-204, へるす出版, 東京.

西岡みどり (2006). 感染管理に必要な統計学. ICP テキスト編集委員会監修・編, ICP テキスト-感染管理実践者のために.  
65-79, メディカ出版, 大阪.

森那美子 (2006). ICPと臨床検査部門との連携. ICP テキスト編集委員会監修・編, ICP テキスト-感染管理実践者のために.  
80-81, メディカ出版, 大阪.

### [ 総説 ]

高橋泰子 (2006). 消毒薬への耐性菌の出現に対抗するには-消毒に潜む感染リスク. *Nursing Today*, 21(2), 10-11.

### [ 講演・学会発表 ]

高橋泰子 (2006). 看護・介護・調理における衛生的な手洗い. 日本防菌防黴学会女性研究者の会主催 第1回学術講演会.

金沢小百合, 杉田美佳, 中田彩子, 紺野和子, 西岡みどり (2006). 「HIV患者のケアに対する看護師の不安」に関連する因子  
の検討(第2報)-看護師におけるHIV感染症に対するイメージの質的検討. 第20回日本エイズ学会学術集会・総会, 東  
京, 11月30日~12月2日.

### [ 研究助成 ]

浅川久子, 池田みち代, 小野典子, 横川美代子, 渡邊節子, 岩田香代子, 吉田久美子, 若松順子, 塩森継紀 (2006). 国立病  
院・療養所附属看護師等養成所卒業生の看護職への就業状況と社会的活動に関する研究. 平成16・17年度国立病院機構多施  
設共同研究「臨床看護」研究報告書.

森那美子 (2006). 看護師の生物災害に対する準備性および教育に関する研究. 平成18年度文部科学省科学研究費補助金事業.

## 成人看護学Ⅰ（急性期）

---

### [ 著書 ]

東玲子, 村上京子, 石井智香子 (2006). 尿失禁のケア. 深井喜代子, 前田ひとみ編, 基礎看護学テキスト. 301-305, 南江堂, 東京.

### [ 論文 ]

西田友美, 立山莉紗, 平陽, 山領志奈, 石井智香子, 稲垣順子 (2006). 腹臥位保持中の苦痛に対する腰背部マッサージの効果. 第37回日本看護学会論文集 (看護総合), 182-184.

### [ 講演・学会発表 ]

西尾和子, 馬場千恵子, 浅川久子, 吉田久美子 (2006). 旧国立病院・療養所の看護管理・教育に携わってきた人たちのライフコースから見た職業経歴の特徴. 第4回国立病院看護研究学会学術集会収録集, 67.

谷昭子, 堤隆子, 国安紀恵, 石井智香子, 稲垣順子 (2006). 上部消化管内視鏡検査を受ける患者への背部マッサージの効果. 第37回日本看護学会抄録集 (成人看護Ⅱ), 79.

野上祐子, 三好幸子, 弘中英子, 石合綾子, 東美幸, 石井智香子, 稲垣順子 (2006). 外来治療を受けている終末期肺がん患者の妻の体験. 第37回日本看護学会抄録集 (成人看護Ⅱ), 47.

上川智子, 泉キヨ子 (2006). 脳卒中後遺症者が継続して患者会に参加している意味. 日本看護研究学会雑誌, 29 (3), 176.

### [ その他 ]

渡辺重行, 新井恵美, 石井智香子 (2006). 心疾患患者における血管機能と運動耐容能・交感神経活性との関連. 循環器専門医, 14 (1), 41-47.

## 成人看護学Ⅱ（慢性期）

---

### [ 著書 ]

小西敏子 (2006). 食道がん罹患の人の看護. 佐藤禮子編, 実践看護技術学習支援テキスト 成人看護学Ⅱ. 55-67, 日本看護協会出版会, 東京.

### [ 研究報告 ]

丸口ミサエ (分担研究者) (2006). 高齢者のターミナルケアにおける問題点. 厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業 平成17年度総括・分担研究報告書, 24-27.

福室真理子, 石嶋みやこ, 小西敏子, 中野絹子, 太布和子, 高橋滝子 (2006). がん患者の治療法選択における看護一患者が受けたと認識する看護の実態と看護師に期待する役割. 平成17年度国立病院機構共同研究 (臨床看護研究) 報告.

### [ 講演・学会発表 ]

増島麻里子, 眞嶋朋子, 佐藤まゆみ, 柴田純子, 神間洋子, 長坂育代, 片岡純, 小西敏子 (2006). 危機的状態にあるがん患者が安寧に至ることを促す看護援助 (Nursing intervention for cancer patients to overcome a critical situation and become well). 千葉大学21世紀COEプログラム (The 21<sup>st</sup> Century Center of Excellence Program the 3<sup>rd</sup> International Symposium).

Ito, M., Tajima, T., Sato, M., Masujima, M., Shibata, J., Kamma, Y., Kuwabara, M., Akimoto, N., Kataoka, J., & Konishi, T. (2006). *Nursing intervention for cancer patients to overcome a critical situation in Japan*. 14<sup>th</sup> International Conference on Cancer Nursing, Toronto, Canada.

土師菜緒子, 小西敏子 (2006). 国立高度専門医療センター・独立行政法人国立病院機構における看護師の政策医療看護に対する知識と役割意識の実態調査. 第4回国立病院看護研究学会学術集会収録集, 116.

### [ その他 ]

飯野京子, 篠道弘, 田中登美, 田端大祐 (2006). 入院から外来への流れをふまえて—安全・確実・安楽ながん化学療法のための看護師・薬剤師の専門性と役割. 看護学雑誌, 70 (10), 918-925.

飯野京子 (2006). がん患者の苦痛症状と緩和ケア—体動困難・しびれ. 看護技術, 52 (12), 1122-1126.

## 成育看護学（小児看護学）

---

### [ 論文 ]

小村三千代 (2006). 進行性筋ジストロフィー症の子どもの意思と欲求への看護師の気づきと関わり. 日本看護科学学会誌, 26 (2), 31-38.

仁尾かおり, 藤原千恵子 (2006). 先天性心疾患をもつ思春期にある人のレジリエンスの特徴. 日本小児看護学会誌, 15 (2), 22-29.

仁尾かおり, 藤原千恵子 (2006). 先天性心疾患をもちキャリアオーバーする高校生の病気認知. 小児保健研究, 65 (5), 658-665.

鈴木遼子, 仁尾かおり (2006). 慢性疾患をもつ児童と級友の関係において学級担任が抱える困難. 第36回日本看護学会論文集 (小児看護), 268-271.

#### [ 研究報告 ]

藤原千恵子, 石井京子, 町浦美智子, 大平光子, 吉川彰二, 仁尾かおり他 (2006). 生涯発達過程で生じる危機に対する患者と家族のレジリエンスを高める支援システム研究. 平成15・16・17年度文部科学省科学研究費補助金報告書.

#### [ 講演・学会発表 ]

駒松仁子 (2006). 婦人共立育児会附属慈善小児病院について. 日本看護歴史学会第20回学術集会講演集, 76-77.

松浦和代, 谷川弘治, 駒松仁子, 仁尾かおり, 松下竹次, 稲田浩 (2006). 小児慢性疾患キャリアオーバーの社会的自立過程における相談概況. 第53回日本小児保健学会, 376-377.

奥坂貴美子, 工藤快枝, 小村三千代 (2006). 臨床実習指導者の指導理由に関する研究. 第26回日本看護科学学会学術集会講演集, 175.

仁尾かおり, 藤原千恵子, 平良七恵 (2006). 先天性心疾患をもつ高校生のレジリエンスに関する研究. 日本小児看護学会第16回学術集会講演集, 326-327.

佐藤麻衣, 仁尾かおり (2006). 入院している子どものきょうだいに対する母親の気がかりと対処. 日本小児看護学会第16回学術集会講演集, 110-111.

本沢侑奈, 仁尾かおり, 平良七恵 (2006). 先天性心疾患をもつ青年期の患者の就職・就労に対する思い. 第42回日本小児循環器学会・学術集会, 89.

上田恵子, 石井京子, 藤原千恵子, 河上智香, 新家一輝, 仁尾かおり他 (2006). 患者のレジリエンスを發揮させる看護援助の実践状況—看護職者の個人要因と職場要因による差異. 第37回日本看護学会抄録集 (看護管理), 345.

吉川彰二, 町浦美智子, 大平光子, 仁尾かおり, 上田恵子, 藤原千恵子他 (2006). 患者家族のレジリエンスを引き出す看護援助の実践状況—看護経験年数と職務キャリア・専門領域の有無による差異. 第26回日本看護科学学会学術集会講演集, 320.

河上智香, 新家一輝, 吉川彰二, 仁尾かおり, 町浦美智子, 藤原千恵子他 (2006). 患者家族のレジリエンスを引き出す看護援助の必要性の認識—経験年数, 職務キャリア, 専門領域による差異. 第26回日本看護科学学会学術集会講演集, 321.

新家一輝, 河上智香, 吉川彰二, 仁尾かおり, 大平光子, 藤原千恵子他 (2006). 患者のレジリエンスを引き出す看護援助の必要性の認識. 第26回日本看護科学学会学術集会講演集, 433.

#### [ その他 ]

小村三千代 (2006). 子どもと家族の反応とその意味. こどもケア, 1(4), 50-55.

仁尾かおり (2006). ナーシングプロセス 川崎病患児の看護. クリニカルスタディ, 27(11), 50-60.

## 成育看護学 (母性看護学)

---

#### [ 著書 ]

中山登志子 (2006). 看護学実習カンファレンス教授活動自己評価尺度. 舟島なをみ監修, 看護実践・教育のための測定用具ファイル—開発過程から活用の実際まで. 114-123, 医学書院, 東京.

#### [ 論文 ]

中田かおり, 佐々木和子 (2006). 助産教育の学内演習における基礎・母性看護技術演習の必要性—学生への質問紙調査による学内演習の評価. 国立看護大学校研究紀要, 5(1), 37-43.

中田かおり (2006). HIV 母子感染予防のための AZT 療法を中心とした周産期管理. 助産師, 60(2), 38-42.

中田かおり (2006). カナダ ブリティッシュ・コロンビア州を中心に—自律した医療専門職としての苦情対応システム. 助産雑誌, 60(7), 580-585.

#### [ 研究報告 ]

中田かおり (2006). カナダ・アメリカの周産期医療に関する患者安全対策とリスク管理—助産・看護の視点から. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合保健研究事業「リスク管理を含めた諸外国の包括的産科管理のあり方に関する研究」(主任研究者: 松岡恵), 平成17年度分担研究報告書.

中田かおり (2006). 北米における周産期医療の安全管理に関する取り組み. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合保健研究事業「リスク管理を含めた諸外国の包括的産科管理のあり方に関する研究」(主任研究者: 松岡恵), 平成16・17年度総合研究報告書.

#### [ 講演・学会発表 ]

Nakayama, T., Kameoka, T., Funashima, N., & Sugimori, M. (2006). *Relationships between personal attributes and quality of clinical teaching behaviors of nursing faculty in diploma programs in Japan*. 17<sup>th</sup> International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing.

中山登志子 (2006). 目標達成に向けた看護学実習の展開—経験から研究へ, 研究成果から実践へ. 看護教育学研究, 15(2), 4-5.

- 山澄直美, 舟島なをみ, 亀岡智美, 中山登志子, 横山京子, 小川妙子, 鈴木恵子, 本郷久美子 (2006). 諸外国の看護継続教育に影響を及ぼした要因の解明—わが国の看護継続教育の検討に向けて. 第26回日本看護科学学会学術集会講演集, 413.
- 中田かおり, 佐々木和子, 伊藤愛子 (2006). 分娩介助の基本的技術習得のための「分娩介助手順」の作成と活用. 第20回日本助産学会学術集会, 東京, 3月.
- 中田かおり (2006). カナダ・ブリティッシュコロンビア州の助産師教育における患者安全対策. 第20回日本助産学会学術集会, 東京, 3月.

#### [その他]

- 森岡由起子, 佐々木和子 (研究協力) (2006). 不妊カウンセリングをするにあたってのアセスメント技法選択について. 厚生労働科学研究費子ども家庭総合研究事業, 生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む総合的運用システムに関する研究, 平成17年度総括・分担研究報告書, 148-173.
- 松岡恵, 谷津裕子, 戸田律子, 中田かおり (2006). 座談会 各国の報告から見えてきたもの. 助産雑誌, 60(7), 606-612.

## 精神・老年看護学 (精神看護学)

---

#### [研究報告]

- 中柴満里, 保刈啓子, 森千鶴 (2006). アルコール依存症患者の自宅退院を受け入れる家族の心理変化とその要因—妻と母を比較して. 第36回日本看護学会論文集 (精神看護), 160-162.
- 宇都宮智, 松本賢哉, 下里誠二, 森千鶴 (2006). 隔離を受けている患者に対する看護援助の実態. 第36回日本看護学会論文集 (精神看護), 195-197.
- 松本賢哉, 宇都宮智, 下里誠二, 森千鶴 (2006). 行動制限を受けている精神障害者の生活技能と援助時間との関連. 第36回日本看護学会論文集 (精神看護), 192-194.
- 浅沼瞳, 戸澤順子, 森千鶴 (2006). うつ病患者の行動変容を促す効果的な看護支援—服薬自己管理に対する患者の心理的変化から. 第36回日本看護学会論文集 (精神看護), 29-31.
- 多田貴志, 下方友子, 戸澤順子, 森千鶴 (2006). バーンアウトと性格特性との関連. 第36回日本看護学会論文集 (精神看護), 9-10.
- 森千鶴 (2006). 「行動」に着目する MORI 式看護過程が精神看護をとらえやすくする. 精神看護, 9(1), 48-68.
- 下里誠二, 西谷博則, 大迫充江, 猪股健一, 原則夫, 小川順子 (2006). 指定入院機関におけるケアプランニングの方法. 平成15～17年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業) 触法行為を行った精神障害者の精神医学的評価, 治療, 社会復帰等に関する研究 (主任研究者: 松下正明) 総合研究報告書 平成17年度総括・分担研究報告書, 610-618.

#### [講演・学会発表]

- 松本賢哉, 森千鶴 (2006). 視覚情報取り込みと心理状況の推察との関連—注視点毎の注視時間, 注視面積との分析から. 第26回日本看護科学学会学術集会, 神戸.
- 森千鶴, 下里誠二, 山田洋, 松本賢哉, 宇都宮智 (2006). 統合失調症者の社会参加促進プログラムの影響. 第26回日本看護科学学会学術集会, 神戸.
- 山田洋, 森千鶴 (2006). 統合失調症者を持つ家族への援助効果. 第26回日本看護科学学会学術集会, 神戸.
- 下里誠二, 森千鶴, 松本賢哉 (2006). 心神喪失者等医療観察法における対象者の入院初期の行動スキルと自己効力感の関連. 第26回日本看護科学学会学術集会, 神戸.
- 佐藤みつ子, 西村明子, 江口美子, 森千鶴 (2006). 大学生の「大学生活に対する不安感」および睡眠習慣に関する研究. 日本公衆衛生学会誌, 第65回学術集会講演集, 339.
- 鳥山絵美, 森千鶴 (2006). 痴漢被害における対処行動・気分とその後の影響. 日本公衆衛生学会誌, 第65回学術集会講演集, 38.
- 大森圭美, 森千鶴 (2006). 作業所に通所している統合失調症者の主観的満足感と生活リズムの関係. 日本公衆衛生学会誌, 第65回学術集会講演集, 844.
- 森千鶴, 江口美子, 西村明子, 佐藤みつ子 (2006). 看護大学生の抑うつ状態と関連する要因. 日本公衆衛生学会誌, 第65回学術集会講演集, 856.
- 鳥山絵美, 森千鶴 (2006). タッチにおける手の意義—手とタオルのタッチ時の心理・生理的影響の比較. 日本応用心理学会誌, 第73回学術集会講演集, 26.
- 小西奈美, 森千鶴 (2006). 手とタオルによるタッチングの評価—脳波の周波数解析を中心に. 日本応用心理学会誌, 第73回学術集会講演集, 34.
- 松本賢哉, 森千鶴 (2006). 心理状況推察のための情報取り込みに関する研究—眼球運動による分析. 日本看護研究学会誌, 29(3), 220.
- 森千鶴, 下里誠二, 松本賢哉, 宇都宮智, 佐伯幸治, 鈴木美穂, 山田洋 (2006). 統合失調症者に対する看護の評価と今後の課題. 日本看護研究学会誌, 29(3), 306.

下里誠二, 宇都宮智, 松本賢哉, 森千鶴, 山田洋, 佐伯幸治, 鈴木美穂 (2006). 精神科急性期閉鎖病棟における暴力とその誘因. 日本看護研究学会誌, 29(3), 308.

宇都宮智, 菅原美枝, 大川美津子, 海老根いく子, 森千鶴, 下里誠二 (2006). 統合失調症における集団基準作成の試み— Broset Violence Checklist を導入して. 第 37 回日本看護学会抄録集 (精神看護), 51.

森千鶴, 下里誠二, 松本賢哉, 宇都宮智, 小平智加, 山田洋, 藤森里実, 福士千代, 佐伯幸治, 浮ヶ谷幸子 (2006). 統合失調症者の自己効力感を高める援助の実践— 6 ステップ・メソッドを応用して. 第 37 回日本看護学会抄録集 (精神看護), 95.

## 国際看護学 (在宅看護学)

---

### [ 著書 ]

松井和子 (2006). 脊髄損傷者の異常疼痛によせて. 脊損痛研究会著, 痛みと麻痺を生きる— 脊髄損傷と痛み. 221-230, 日本評論社, 東京.

### [ 論文 ]

山田和子, 平野かよ子, 鳩野洋子, 島田美喜, 俵麻紀, 大竹ひろ子他 (2006). 失業者のメンタルヘルスの実態とその関連要因— 抑うつ状態とストレスを中心に. 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 2, 27-35.

### [ その他 ]

岡美智代, 佐川美枝子, 山名栄子, 後藤真希, 鈴木直美 (2006). セルフマネジメントが必要な人とその家族への援助 第 1 回 透析の概要と患者・家族が抱える問題. 家族ケア, 4(9), 20-23.

山名栄子, 佐川美枝子, 岡美智代, 後藤真希, 鈴木直美 (2006). セルフマネジメントが必要な人とその家族への援助 第 2 回 行動変容プログラムで家族の問題を解決する その 1. 家族ケア, 4(10), 14-17.

佐川美枝子, 岡美智代, 山名栄子, 後藤真希, 鈴木直美 (2006). セルフマネジメントが必要な人とその家族への援助 第 3 回 行動変容プログラムで家族の問題を解決する その 2 各技法の解説と家族看護への応用. 家族ケア, 4(12), 10-14.

## 国際看護学 (国際看護学)

---

### [ 論文 ]

Melby, C. (2006). Editorial, communicating in a global world. *Nursing & Health Sciences*, 7(1), 218.

### [ 研究報告 ]

三枝清美, 石村由利子 (2006). 母乳育児推進に関する研究 (分担研究). 平成 17 年度 こども未来財団 児童関連サービス調査研究等事業報告書「授乳・離乳のための新たなガイドライン策定のための枠組みに関する研究」(主任研究者: 堤ちはる), 9-123.

### [ 講演・学会発表 ]

Melby, C. (2006). Visiting Scholar, University of Western Sydney, Australia Conducted Workshop.

Melby, C. (2006). *Pedagogical and ethical dilemmas in cross cultural teaching*. The 8<sup>th</sup> World Congress of Bioethics, 6-9 August, Beijing, China.

Saegusa, K. (2006). *Role of a nurse in maternity ward in disaster situation*. Symposium of Disaster Nursing Management, Riyadh, Kingdom of Saudi Arabia.

## 臨床教員

---

### [ 論文 ]

大柄昭子 (2006). 精神科急性期閉鎖病棟の患者の語り. 日本精神保健看護学会誌, 15(1), 50-57.

大柄昭子 (2006). 苦痛の緩和・安楽の技術. 看護実践の科学, 31(7), 110-113.

奥坂喜美子, 木村弘江, 山西文子 (2006). 国立看護大学校の主たる実習施設としての環境整備— 実習指導者専任化による基礎教育への積極的参画. 看護展望, 31(3), 77-82.

松本賢哉, 宇都宮智, 下里誠二, 森千鶴 (2006). 行動制限を受けている精神障害者の生活技能と援助時間と関連. 第 36 回日本看護学会論文集 (精神看護), 36, 192-194.

宇都宮智, 松本賢哉, 下里誠二, 森千鶴 (2006). 隔離を受けている患者に対する看護援助の実態. 第 36 回日本看護学会論文集 (精神看護), 36, 195-197.

### [ 講演・学会発表 ]

山下美智代, 奥坂喜美子 (2006). 新人育成に向けた臨床と看護基礎教育の連携. 第 4 回国立看護研究学会学術集会, 福岡.

奥坂喜美子, 工藤快枝, 小村三千代 (2006). 臨床実習指導者の指導理由に関する研究. 第 26 回日本看護科学学会学術集会, 神戸.

- 松本賢哉, 森千鶴 (2006). 心理状況推察のための情報取り込みに関する研究—眼球運動による分析. 日本看護研究学会雑誌, 29 (3), 220.
- 森千鶴, 下里誠二, 松本賢哉, 宇都宮智, 佐伯幸治, 鈴木美穂, 山田洋 (2006). 統合失調症者に対する看護の評価と今後の課題. 日本看護研究学会雑誌, 29 (3), 306.
- 下里誠二, 宇都宮智, 松本賢哉, 森千鶴, 山田洋, 佐伯幸治, 鈴木美穂 (2006). 精神科急性期閉鎖病棟における暴力とその誘因. 日本看護研究学会雑誌, 29 (3), 308.
- 佐伯幸治, 松本賢哉 (2006). 集団心理教育の参加中断の要因に関する研究. 日本看護研究学会雑誌, 29 (3), 313.
- 森千鶴, 下里誠二, 松本賢哉, 宇都宮智, 小平智加, 山田洋, 藤森里実, 福士千代, 佐伯幸治, 浮ヶ谷幸子 (2006). 統合失調症者の自己効力感を高める援助の実践—6 ステップ・メソッドを応用して. 第 37 回日本看護学会抄録集 (精神看護), 95.
- 藤田修, 佐伯幸治, 赤城いちよ, 浮ヶ谷幸子, 松本賢哉 (2006). 統合失調症患者の家族に関する個別心理教育の効果. 第 37 回日本看護学会抄録集 (精神看護), 92.
- 島田誠子, 等々力信子, 宮坂圭一, 川口千寿子, 松本賢哉 (2006). うつ病患者へのピアグループの有用性. 第 37 回日本看護学会抄録集 (精神看護), 85.
- 佐伯幸治, 浮ヶ谷幸子, 赤城いちよ, 松本賢哉 (2006). 集団心理教育の対象者の適応に関する研究 第一報. 第 37 回日本看護学会抄録集 (精神看護), 79.
- 平義光, 松本賢哉, 森千鶴 (2006). 精神看護学実習における学生による指導者評価—実習環境との関連を分析して. 第 16 回日本看護学教育学会学術集会講演集, 151.
- 松本賢哉, 森千鶴, 平義光 (2006). 精神看護学に対する興味の変化と学生による指導者評価との関連. 第 16 回日本看護学教育学会学術集会講演集, 150.
- 松本賢哉 (2006). 入院中の統合失調症患者の活動休息の変化と薬物療法との関連. 第 16 回日本精神保健看護学会抄録集, 64.
- 松本賢哉 (2006). 学生とともに育つ実習指導—臨床と教育の連携. 日本看護学教育学会第 16 回学術集会.
- 平野真美, 佐々木友紀子, 大迫哲也 (2006). 「本人の意に反した入院」経験のある精神障害者が語る入院体験—外来通院患者に入院体験が与えた影響を視点にして. 第 37 回日本看護学会抄録集 (精神看護), 127.